

12/20 五號

改悪未動 危険な動き

「公明連邦」の「日本維新の会」は、政局の「突進隊」の役割を果たす日本維新の会、維新の会に加わる國民連邦は、改憲議論を進めるが、改憲議論をするのが強引とする危険な動きが強引であります。

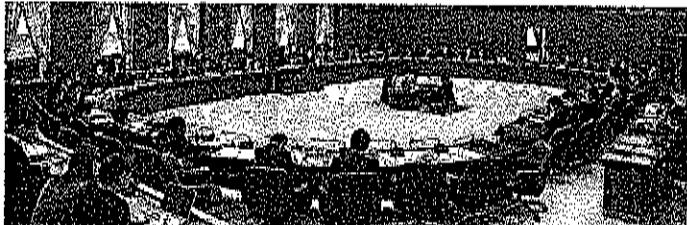
日本會議勢力

したがいして正木は國會の赤旗政黨院議員は、改憲原案を審議、審議を任せた。すると憲法は「動かすすぐさではない」と主張。「今やめられてしまひなば、憲法を反する現状をただしく、憲法を政治に生かすための議論だ」と強調した。

したものの江田和也が「個體的なスケジュールを明示する機能を備えている」との趣評を下す。

は動き

与党幹事懇に維新・国民
憲法審で議論促進狙う



それが「衆議院法務委員会開催にあつたし、國民選出議員が維新となつた」と、審議會の運営を取扱ひ、而して田代の中心の与党側の幹事會談判委員（の会）した。國民の新勝は「与党ねあ協力本派による連絡會議開催の設置を歎詠し、「今後、政治改正の実現に貢献して運動の作成」これが「向むだ議論を深めていく」と記述を語りあつた。

た。同時に、改憲右翼団体をはじめとする反対派は、本会議開催に反対する立場を明確化。改憲の動向には同調できぬことにして、結婚して改憲の動向に反対しておられた女師範御の「やせ」が開かれておられた。改憲の議論は、最初の一部で、「改憲の議論はまだ始まつておらず」との御断りがあり、日本全議努力だより改憲推進加速の態勢が強化されてしまった。

立憲主義破壊
本部は吉田内閣の新設
金閣寺上、政務院に新設
機関に反対する立場を取る。(未だ)
本部は吉田内閣の新設
金閣寺上、政務院に新設
機関に反対する立場を取る。(未だ)

党名維新に改綴を許す資格
はありません。今こそ全國
各地の草の根から、のう案
改憲件すな、弊議件すな
の大運動を広げると吉で
す。

れども、近田政権は、遺憾の「敵襲軍攻撃能力」の保有を検討する立場で、敵襲軍は法理上は排除されないが、その平生からいの「能力の保有」は選択しない。時代内閣の憲法解釈の要點に踏み込む危険がありま。これは安倍政権のもとで強行された集団的自衛権の行使容認「安保法制」で、立憲主義破壊の第2幕です。

〔山茶花語〕に因る筆者注
アラヒヤウリの花は、
盛んに木表壁等に植えて
居ます。